

「ふれあい広場」の各コーナーで紹介する人を募集します。自薦他薦は問いません。日ごろ感じている意見や質問なども募集しています。  
あて先=〒028-0592 遠野市東館町8番12号  
市情報推進課広報広聴係 (☎@2111内線364)

# ふれあい広場

## ともに歩んで 半世紀

⑤ 宮守町

もりまさ  
佐々木 操正さん (72歳)

ケイさん (70歳)



心から感謝しています  
まだまだ長生きしてくだい

・結婚のとき、五十年の思い出は――  
(操正) 知人の紹介で運動会に来ていた妻を見に行きました。化粧つきの素朴なところに引かれて、結婚しようと思いました。  
(ケイ) 初めて会話ししたのは、披露宴が終わってからでした。  
(操正) 母が脳腫瘍で仙台の病院に入院し、達磨部と仙台を往復する日々が続きました。当時は乳牛を飼っていたので、搾乳など近所の人たちに随分助けてもらいました。  
(ケイ) 義母が退院後、自宅で介護しましたが、現在のように福祉サービスが充実していなかったため、何もしてあげられなかったことが心残りです。  
・今の楽しみ、お互いに言いたいこと――  
(操正) 孫の成長が楽しみです。  
(ケイ) テレビを見ることが近所で茶飲み話をするのが楽しみです。  
(操正) 苦勞を掛けた五十年だった。心から感謝しています。  
(ケイ) まだまだ長生きしてください。

◆お仕事は…遠野健康福祉の里で非常勤の栄養士をしています。健康における食事の大切さを、分かりやすく伝えることを心掛けています。  
◆趣味は…スポーツをすること。  
◆何をしているときが楽しい…最近、ダーツに夢中です。市内のお店に週3回は通っています。  
◆自己分析すると…負けず嫌いです。  
◆理想のタイプは…一緒に居て楽しい人。  
◆これからの目標は…いろいろな人との出会いから多くのことを学び、仕事や生活に生かしたいです。

## 青春のトーク

⑤



## 食の大切さを伝えたい

ひろみ  
菊池 宏美さん

土淵町・22歳・AB型・遠野健康福祉の里



## 学校 CLUB 紹介

⑤ 目指すは  
県大会一勝  
上郷中学校  
男子バスケットボール部

上郷中学校(菊池定雄校長、生徒百十一人)男子バスケットボール部は、一年生三人、二年生四人の計七人で活動しています。昨年九月に行われた地区新人大会で優勝し県大会に出場しましたが、残念ながら一回戦で敗退しました。キャプテンの菊池樹理君(二年・ガード)は「私たちのチームは個人の能力は高いのですが、団結力や試合中の連携が足りません。この課題を克服することと、シュートの精度、体力の向上を目標に練習に励んでいます。ここ数年、県大会では初戦敗退が続いているので、今年の地区大会で優勝することはもちろんのこと、県大会で一勝を挙げることが目標です」と力強く話していました。  
顧問の阿部剛(さとし)教諭から「みんなバスケットボールを好きな子どもたちで、ひたむきに練習に励んでいます。地区中総体での優勝を目指し、さらに努力を重ねていきましょう。」

## 風の人

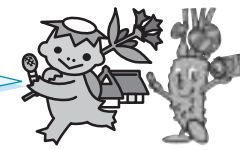
交通栄誉章「緑十字銀章」受賞

## ドライバー一人一人の自覚が大切

みさお  
多田 美沙雄さん (宮守町・76歳)



## ひとこと インタビュー



ゆうま  
葛巻 祐海くん  
(遠野北小・1年)

大工さんになってお城のような家を作りたいです。走ることが得意なので、学校では体育の授業が大好きです。



かすみ  
菊池 香純ちゃん  
(遠野北小・1年)

おばあちゃんとお米や野菜を作りたいです。好きな科目は国語です。漢字の練習をするのが大好きです。



みなみ  
菊池 美南ちゃん  
(遠野北小・1年)

やさしい看護師さんになって、けがをしている人を治してあげたいです。家では皿洗いの手伝いをしています。



ゆうと  
菊池 優斗くん  
(遠野北小・1年)

大工さんになって、広い家を作りたいです。家では風呂洗いやぞうきんがけの手伝いをしています。

## 大きくなったら何になりたい？

多田美沙雄さんは、昭和三十年七月に小型自動車運転免許(現在の普通自動車運転免許)を取得以来、五十年間無事故無違反を継続し、一月十八日、東京・日比谷公会堂で開催された第四十六回交通安全国民運動中央大会で、優良運転者として交通栄誉章「緑十字銀章」を受賞しました。  
多田さんは、宮守村交通指導隊長や県交通安全協会遠野支部副支部長などを経て、平成三年からは県公安委員会が委嘱する地域交通安全活動推進委員を務めるなど、地域の交通安全活動に尽力しています。

「わたしは自動車を運転するとき、子どもやお年寄りを見掛けたり減速するようにしています。子どもやお年寄りは、判断から行動に移るまでどうしても時間がかかってしまうので、減速して不測の事態に備えます。また、優先道路への進入時には出会い頭の事故が多いので、一時停止を厳守するように心掛けています。

現在、地域交通安全活動推進委員として、春・夏・秋・冬の交通安全運動で主に街頭指導などの活動を行っています。その際、目につくのは若者や女性ドライバーのスピード超過、市街地での駐車違反です。ドライバー一人一人が、教習所で習った交通ルールを守れば、交通事故は起きません。今後交通安全活動に参加して、少しでも交通事故を減少させるお手伝いをしていきたいと思っております」と話していました。